

ひたちなか市教育委員会会議録

平成26年 第11回 ひたちなか市教育委員会9月定例会 会議録						
平成26年9月1日		開会 午後2時00分		閉会 午後3時00分		
○場 所	那珂湊支所 第1会議室					
○出席委員	委員長 小田島 俊夫	委員長職務代理者 石田 厚子	委 員 西野 信弘	委員 沓澤 久美子	教育長 木下 正善	
○欠席委員						
○会議に出席した構成員	補 職 名			氏 名	出・欠	
	教育次長			鈴木 幸男	出席	
	総務課長			岩崎 龍士	出席	
	参事（教育担当）			廣瀬 佳久	欠席	
	参事兼指導課長			森井 榮治	出席	
	施設整備課長			澤島 恵一	出席	
	学務課長			石崎 聡一郎	出席	
	参事兼青少年課長			阿部 美代子	出席	
	中央図書館長			大和田 雅一	欠席	
	○事務局員	総務課長補佐兼係長			一木 宙	出席
		総務課主幹			黒澤 一彦	出席
総務課主事			小野寺 優	出席		
○議 事						
1 報告事項	(1)	平成26年度ひたちなか市職員（調理員）採用試験申し込み状況について【公開】				
	(2)	「平成26年度 教育ひたちなか」について【公開】				
	(3)	総合体育大会の結果について【公開】				
	(4)	2学期の主な研究発表会等について【公開】				
	(5)	自然体験キャンプの結果報告について【公開】				
	(6)	全国学力診断テストの結果について【公開】				

平成26年第11回ひたちなか市
教育委員会9月定例会会議録（概要）

開会 14:00（那珂湊支所）

委員長 （あいさつ、開会の宣言）

報告事項（1）平成26年度ひたちなか市職員（調理員）採用試験申し込み状況について

事務局 平成26年度ひたちなか市職員（調理員）採用試験申し込み状況について説明します。採用者1名に対して、今年度は3名の応募があり、倍率は3倍となりました。応募者は全員が市内小中学校に勤めている調理員となりました。採用試験は第1次試験と第2次試験があり、第1次試験は9月21日の午前9時から那珂湊支所第1会議室を会場に、教養試験、作文試験、適性検査となります。第2次試験は10月9日に那珂湊支所で予定しており、11月下旬に試験合格者を決定する流れとなります。

【質疑、意見等】

特に無し

- * 報告事項（1）平成26年度ひたちなか市（調理員）採用試験申し込み状況について報告がありました。

報告事項（2）「平成26年度 教育ひたちなか」について

事務局 平成26年度教育ひたちなかですが、教育委員会各課の事業を掲載しており、幼稚園や小中学校、関係各課に配布しています。今年度は市誕生20周年の年ですので、裏表紙にロゴを使用しました。

【質疑、意見等】

特に無し

- * 報告事項（2）「平成26年度 教育ひたちなか」について報告がありました。

報告事項（3）総合体育大会の結果について

指導課長 総合体育大会の結果について、勝田第二中学校の剣道男子個人の部及び那珂湊中学校の女子柔道個人の部が、どちらも全国ベスト8に入ったと連絡を受けています。その他の結果については、詳細を取りまとめて次回の定例会で報告します。

【質疑，意見等】

特になし

- * 報告事項 (3) 総合体育大会の結果について報告がありました。

報告事項 (4) 2学期の主な研究発表会等について

指導課長 9月8日に，勝田第三中学校以外の8校の体育祭が予定されております。勝田第三中学校は，体育館の工事の関係で5月に実施済みです。

9月19日には，市の新人体育大会陸上の部が笠松運動公園で行われ，他の競技は24日，25日の2日間で行われます。この新人大会は県大会までの開催のため中央大会等は開催されません。

10月29日に津田小学校で算数の公開授業が，10月31日には田彦小学校で国語の公開授業が，それぞれ県の学力向上推進プロジェクト協力校として行う予定です。

本市の研究推進校として，佐野小学校が10月16日に生活科の公開授業を，11月5日にはICT機器を活用した公開授業をそれぞれ行う予定です。もう1校の研究推進校である平磯中学校の公開授業については，日程等が決まり次第報告します。

【質疑，意見等】

特になし

- * 報告事項 (4) 2学期の主な研究発表会等について報告がありました。

報告事項 (5) 自然体験キャンプの結果報告について

青少年課長 第22回の自然体験キャンプを，8月21日から23日までの日程で，常陸太田市の県立里美野外活動センターで実施しました。募集人数は120名でしたが，体調不良などからキャンセルもあり，114名の参加となりました。キャンプはほぼ予定通り実施できましたが，初日のナイトハイキングについては，雷雨の通過を待っていたため予定よりも遅れての実施となりました。また今年は5年生が例年よりも多かったからか，調理の段取りになどに時間が掛かり，学年1つの差は大きいのだと感じました。今年は高校生会の会員数の減少や大学入試の関係で参加が少なかったため，連携協定を結んでいる茨城高専に依頼をし，ボランティア部から4名の方の参加をいただきました。子ども達からの評価もよく，今後も様々なことで協力いただければと考えています。来年度の課題として，子どもの人数が減っていますが，日頃できない体験をする機会

です。そのことを踏まえながら参加人数の検討をしていきます。

また、8月27日に仕事体験交流事業として、ひたちなか海浜鉄道での体験を行いました。定員40名のところ65名の応募がありましたが、当日はキャンセルがあり36名の参加となりました。当初予定をしていた活動は行えましたが、列車を貸しきって行うアナウンス体験は、車両を走らせずに行うことになりました。なお、来年度は2回開催し、30名ずつ募集することも考えています。

【質疑、意見等】

委員長 来年度に向けて参加者や日程を検討していくということですが、子ども達の参加が増えるよう、毎年少しずつ変えていってもらえればと思います。

* 報告事項 (5) 自然体験キャンプの結果報告について報告がありました。

その他 (6) 全国学力診断テストの結果について

指導課長 全国学力診断テストの結果を受けて、今後は分析した結果を各学校と共有しながら、具体的な対策について取り組んでいく予定です。対策の1つとして、教職員の研修として全小中学校から1名が出席し、昨年度の学習学力状況調査の結果から、課題となっているものについて分析を行っています。

【質疑、意見等】

西野委員 現在は、受験者の総得点が分かっているのですか。

指導課長 はい。現在は総得点のみ分かっている状態です。

西野委員 結果については、公表はしないのですか。

指導課長 本市では公表はしない方針です。

教育長 毎年結果については分析を行っていますが、その学年によって差が大きく出ることもあります。子どもたちが学力を上げていくには、どのような学習状況が良いかを分析していますが、例えば家で学習する習慣がある子どもはやはり学力が高まる傾向があります。また早寝早起きといった規則正しい生活を送っていることも関係してきます。そうした様々な要素が絡まって学力が向上していきますので、ひたちなか市としては、心が安定した生活ができるような落ち着いた学校生活で、基本がきちんと備わっていくように指導していくことが一番大切なのではないかと考えています。

そのため学力を適切に伸ばさせていくために、あるいは人間が育っていく上では心の安定が大事ですので、当市では落ちついた学校生活を送れるようにすることで、学力向上に取り組んでいます。

- 石田委員 小学5年生でテストを受けた児童が、中学生となってどれだけ学力が伸びたか比較できるようになるには、どれぐらいかかりますか。
- 教育長 正確なデータとして出てくるのは、2年経たなければなりません。
- 委員長 学力にのみ目を向けて指導をしていると、心に関する指導について問題になってくるような気がします。
- 教育長 国語と算数のみに力を入れれば、表向きの数値は良くなりますが、全体としてみれば、教育の質は向上していかないと思います。落ち着いた環境の中でしっかりとした指導をすれば、学力は自然と伸びてくると思います。
- 委員長 親と子の繋がりや子ども達の横の繋がり、そうしたものが育っていけば、学力が伸びていく要素になるのではないかと思います。また生活状況の調査で、スマートフォンや携帯電話を1時間以上使用している子は、比較すると成績が少し落ちているのではないかという意見を聞いたことがあります。
- 指導課長 家庭学習の時間が確保されていない原因の1つとして、スマートフォンがあると捉えています。
- 沓澤委員 パソコンやスマートフォンなどの、子どもに対する誘惑が多くなったと思います。またそれらに対する子どもの知識がすごく、親も一生懸命努力しますが、なかなか知識が追いつかないことがあります、子どもを注意すること自体が難しいところがあると思います。
- 委員長 (あいさつ、閉会の宣言)

閉会 15:00